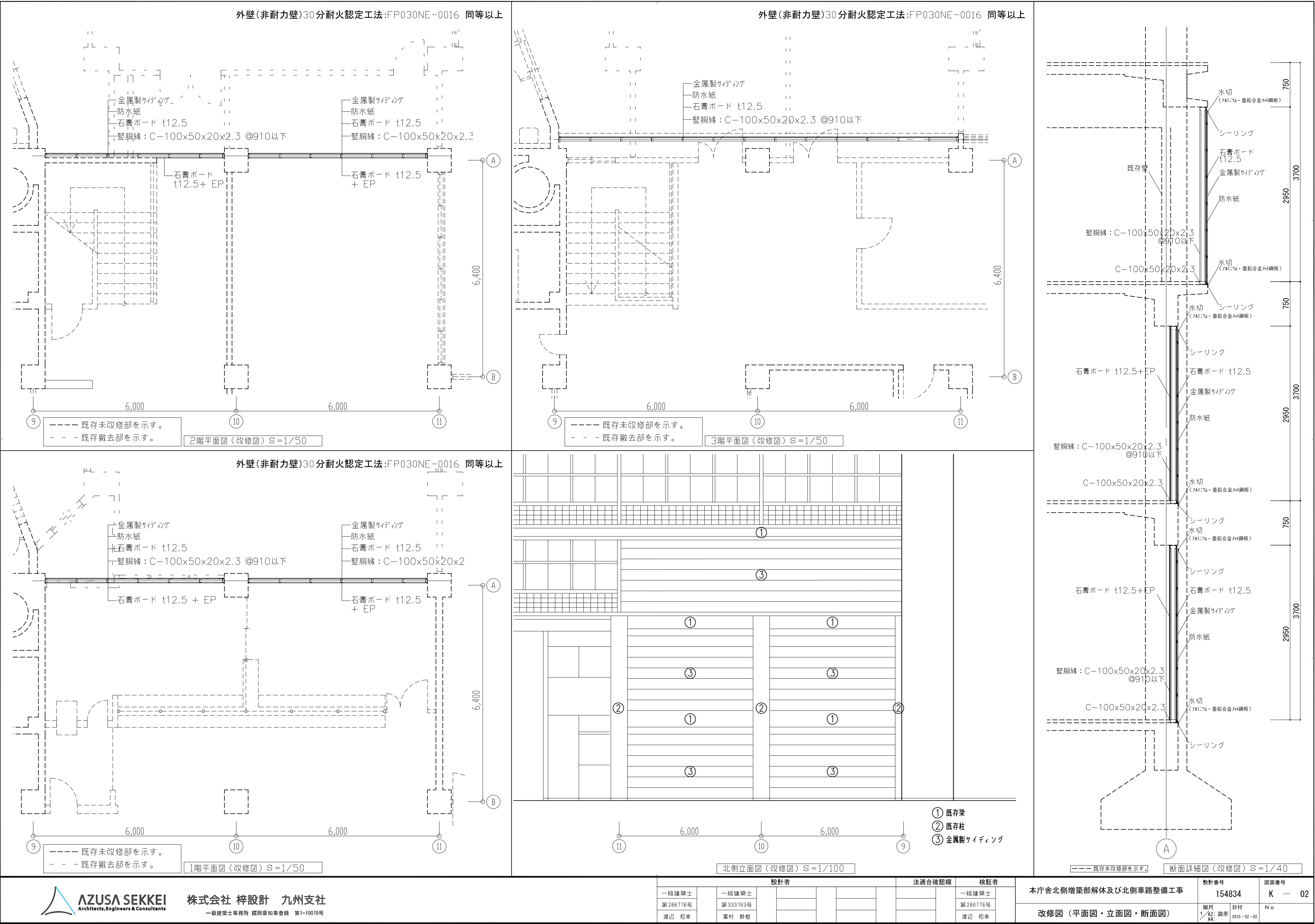


[illegible]



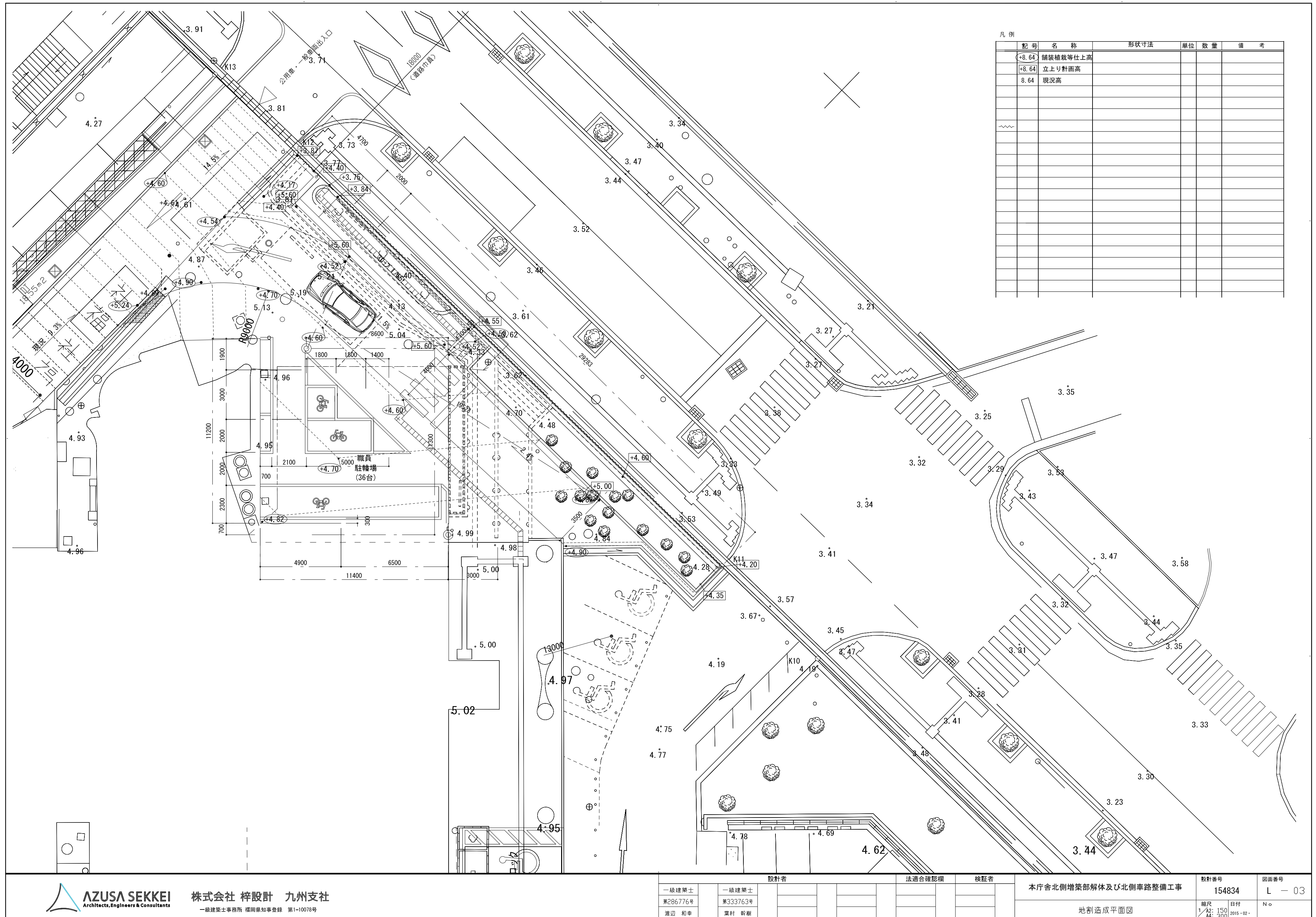
21章 排水工事		22章 舗装工事		23章 植栽工事	
① 排水管	材種 (21.2.1)(21.3.3)(表21.2.1) 材 種 管の種類 (※1種・) 管形状 (接合方法) ・ 透心力鉄筋コンクリート管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 ※VP ・ VU ※RS-VU ・ RS-VP 形状、寸法 ※図示	① 路床 ○盛り土用材料 ○A種 ○B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土⑤ 方法 ・ 遮断層 材料 ⑤川砂 ・ 海砂又は良質な山砂 (22.2.2(a)(1))(22.2.3(b)) 厚さ ・ 図示 ・ mm ・ 凍上抑制層材料 ・ 砂 ・ 火山灰 ・ 火山礫 ・ 切込み砂利 (22.2.2(a)(2))(22.2.3(c)) 厚さ ・ 図示 ・ mm ○透水性舗装に用いるフィルター層 ⑤車道部150 mm ⑤歩道部50 mm (22.2.2(a)(3)) 路床安定処理 (22.2.3(a))(表22.2.2) 方法 ※添加材料による安定処理 (22.2.2(a)(4)) 材料 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 ・ 高炉セメントB種 ・ 生石灰(・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰(・ 特号 ・ 1号) 添加量 厚さ 300 mm(目標CBR 5以上) (22.2.2(a)(4)) 路盤 厚さ ⑤図示 ・ (22.3.2(a))(表22.3.1) 材料 ・ クラッシュランRC-40 (22.3.3(a))(表22.3.3) ・ クラッシュラン鉄鋼スラグGS-40 ○再生クラッシュランRC-40 ⑤ ・	⑧ 街きょ・緑石及び側溝 緑石の形状 ○材料 図示 ・ 寸法 (22.10.2(a))(表22.10.1) 側溝の形状 ○材料 図示 ・ 寸法 (22.10.2(a))(表22.10.1) 側溝の蓋 種類 形状・寸法 強度 設置箇所 ・ 鋳鋼板 ・ PC板 ○グレーチング 図示 図示 図示 ・ 鋳鉄製 地業の材料 ※4.6.2(a)による (22.10.2(c))(4.6.2(a)) 砂利敷き使用材料、種類 (22.11.2)(表22.11.1) 通路 ※A種 ・ 材料 厚さ mm 建物周囲その他 ※B種 ・ 材料 厚さ mm 材料 ○路面表示用塗料(トラフィックペイント、JIS K 5665) 種類 ・ 1種(常温) ○2種(加熱) ※3種(溶融) 規格 ※1号 ・ 2号 ※1号 ・ 2号 色彩 ※白色 ・ 黄色 ライン引きの幅 ※150 mm ・ 図示 塗布厚さ ※1.0 mm ・ 材料 ※図示 ・ 形状 ※図示 ・ 寸法 ※図示 ・ 数量 ※図示 ・ 性能試験 (22.2.5(a)(b)(c))(22.3.5)(22.4.6(c))(22.7.6(c))(22.8.6(c))(表22.4.8) 試験の方法・摘要 試験箇所 路床土の支持力比(CBR)試験 ○行う(※乱した土 ・ 乱さない土) ・ 行わない 砂の粒度試験 ○行う ・ 行わない 路盤締固め度の試験 ⑤行う ・ 行わない アスファルト混合物の抽出試験 ・ アスファルト舗装 ・ 行う ※行わない ・ 透水性舗装 ・ 行う ※行わない ・ 排水性舗装 ・ 行う ※行わない		
② 側塊及び排水畔	側塊、排水畔及びふた 形状、寸法 ※図示 (21.2.2) 鋳鉄製マンホールふた (21.2.2) 種 類 ・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-14用 ・ T-20用 形状寸法 (mm) 施工箇所 ○氷封形 ・ 密閉形(チ-n'-n'gw式) ・ 簡易密閉形(n'gwn式) ・ 中ふた付密閉形 ・ 断熱型	② 路盤 厚さ ⑤図示 ・ (22.3.2(a))(表22.3.1) 材料 ・ クラッシュランRC-40 (22.3.3(a))(表22.3.3) ・ クラッシュラン鉄鋼スラグGS-40 ○再生クラッシュランRC-40 ⑤ ・	9. 砂利敷き 砂利敷き使用材料、種類 (22.11.2)(表22.11.1) 通路 ※A種 ・ 材料 厚さ mm 建物周囲その他 ※B種 ・ 材料 厚さ mm 材料 ○路面表示用塗料(トラフィックペイント、JIS K 5665) 種類 ・ 1種(常温) ○2種(加熱) ※3種(溶融) 規格 ※1号 ・ 2号 ※1号 ・ 2号 色彩 ※白色 ・ 黄色 ライン引きの幅 ※150 mm ・ 図示 塗布厚さ ※1.0 mm ・ 材料 ※図示 ・ 形状 ※図示 ・ 寸法 ※図示 ・ 数量 ※図示 ・ 性能試験 (22.2.5(a)(b)(c))(22.3.5)(22.4.6(c))(22.7.6(c))(22.8.6(c))(表22.4.8) 試験の方法・摘要 試験箇所 路床土の支持力比(CBR)試験 ○行う(※乱した土 ・ 乱さない土) ・ 行わない 砂の粒度試験 ○行う ・ 行わない 路盤締固め度の試験 ⑤行う ・ 行わない アスファルト混合物の抽出試験 ・ アスファルト舗装 ・ 行う ※行わない ・ 透水性舗装 ・ 行う ※行わない ・ 排水性舗装 ・ 行う ※行わない		
③ その他の材料	地業の材料 ※4.6.2(a)による ・ (21.2.3(a)) コンクリート ※6章14節による(設計基準強度18N/mm ²) 埋戻し土 表3.2.1 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土⑤ (21.2.3(a))	舗装の構成、仕上がり (22.4.2(a))(表22.4.1)(22.6.2(a))(表22.6.1) 舗装の種類 ○アスファルト舗装 ※なし ○あり ・ カラー舗装 ※なし ・ あり ・ 加熱混合式舗装 アスファルト混合物舗装 ・ 樹脂系混合物舗装 ・ 常温混合式舗装 樹脂系混合物舗装 ・ ゴムチップ混合物(弾性)舗装 ・ スラリー混合物舗装 ・ 塗布舗装 カラー舗装用材料 顔料 ※無機系 ・ 有機系 (22.4.2(a))(22.6.3) 着色骨材 ・ 有色骨材(焼成) ・ 着色骨材(樹脂皮覆) 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 (22.4.2(d)) アスファルト ⑤再生アスファルト ・ ストレートアスファルト (22.4.3) 再生加熱アスファルト混合物及び加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.6) 区分 ※一般地域 ・ 寒冷地域 表層 ⑤密粒度アスファルト混合物(13) ※密粒度アスファルト混合物(13F) ・ 細粒度アスファルト混合物(13) ・ 細粒度ギャップアスファルト混合物(13F) 基層 ○粗粒度アスファルト混合物(20) 骨材 ※JIS A5001によるもの (22.4.3(d)) ・ 757μmコンクリート再生骨材⑤ ・ 再生クラッシュラン⑤ ・ 道路用鉄鋼スラグ⑤ シールコート ※行わない ・ 行う(施工範囲) (22.4.5(f))	⑩ 区画線 11. 車止め ⑫ 性能試験		
④ 工法	管路敷設の工法 (21.3.3) 車道の通行がなく、切土等の通常の支持地盤 ※21章3節による ・ 上記以外の地盤 ※図示	4. コンクリート舗装 コンクリート舗装の構成及び厚さ ※表22.5.1による (22.5.2(a))(表22.5.1) 寒冷地の縁道立ち下がり寸法 (22.5.2(a)) コンクリート舗装に使用するコンクリート ※表22.5.2による (22.5.3(a))(表22.5.2) 転圧コンクリート舗装に使用するコンクリート (22.5.3(a)) ・ 設計基準曲げ強度 18 N/mm ² ・ 配合強度 N/mm ² 冬期施工での早強セメントの使用 ※使用しない ・ 使用する (22.5.3(b)) 注入目地材料 ※加熱施工式低弾性タイプ (22.5.3(d))(表22.5.3) ・ 加熱施工式高弾性タイプ 溶接金網(64150mm目) ※あり ・ なし (22.5.3(f)) コンクリート版の厚さ試験(コア採取) ※行わない ・ 行う (22.5.6(a)) 5. 透水性アスファルト舗装 舗装の厚さ ※車道部50 mm ※歩道部30 mm (22.7.2(a)) 舗装の平たん性 ※著しい不陸がないこと (22.7.2(b)(2)) 材料 ※車道部は※'リマ-改質ト757μmⅠ型 ※歩道部はストレート757μm (22.7.3) ・ 路盤材料 ※クラッシュラン鉄鋼スラグ⑤ (表22.7.1~3) 6. 排水性アスファルト舗装 構成及び厚さ 表層 ※表22.8.1による (22.8.2) ・ 基層 ※表22.8.1による (22.8.2) アスファルト混合物 ※※'リマ-改質ト757μmⅡ型 ・ ※'リマ-改質ト757μmⅠ型 (22.8.3) タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類 (22.8.3(a)(2))(表22.8.2) ※適用時期 冬期以外 PKR-T1 7. ブロック系舗装 ○コンクリート平板舗装 (22.9.3(a))(22.9.2(a)(1)) 種 類 寸法 mm 厚さ mm 目地材 ※普通平板(N) ・ カラー平板(C) ※300角 ※60 ※砂 ・ 流出平板(M) ○礫石平板(S) ・ モルタル ○インターロッキングブロック舗装 (22.9.3(b)) 種 類 厚さ mm 色彩及び表面加工等 ※普通ブロック (N-) 車道部 ※80 ・ ※標準品 ○透水性ブロック (P-) 歩道部 ⑤60 ・ ○ ・ 植生用ブロック (G-) ※80 ・ 100 ○視覚障害者誘導用ブロック 製造所 ・ (製品名：)	① 植栽基礎整備 ※行う ・ 行わない (23.2.2)(23.2.3)(23.2.4)(表23.2.1)(表23.2.2) 樹高 有効土層の厚さ cm 工法 整備範囲 ・ 12m以上 ※100 ・ 120 ・ 150 ※A種 ※植込み部分 ・ 7~12m ※80 ・ 100 ・ B種 ・ 葉張りの範囲 ○3~7m ※60 ○80 ・ C種 (植高7m以上) ○3m以下 ※50 ○60 ・ D種 ・ 図示 ○芝、地被類 ※20 ※日種・C種・D種 ※植栽範囲 注) 工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。 雨水排水の工法 ※図示 ・ 暗きょ ・ 開きょ ・ 排水層 (23.2.2(c)) ・ 縦穴排水 ② 材料 植込み用土 ※現場発生土の良質土 (23.2.3(a)) ○客土 種類 ※畑土 ・ 黒土 範囲 ※植込み部分 ・ 図示 土壌改良材 適 用 ※する ・ しない (23.2.2(e))(23.2.3(b)) 種 別 ※バーク堆肥⑤ ・ 発酵下水汚泥コンポスト⑤ 施工範囲 ※植込み部分 ・ 図示 特殊基礎整備 ・ 支柱の形状 ※図示 ・ 添え柱形 ・ 鳥居形 ・ ハツ掛け形 (23.3.3(d)) ・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ○地下埋設形 材料 ※杉焼丸太(間伐材)⑤・竹・金属・ワイヤー(防錆処理品)(23.3.2(c)) 支柱の耐風強度※風速50m/s程度に充分耐える強度とする。 (23.3.2(d)) 幹巻き用材料 ※幹巻き用テープ ・ わら及びこも (23.3.2(d)) 新植樹木の枯損償及び移植樹木の枯損処理の期間 (23.3.4)(23.3.6) ※引渡しの日から1年間 ・ ③ 植樹 ○芝の種類 ⑤コウライシバ ・ ノシバ ・ (23.4.2(a)) 芝張り工法 平地 ⑤べた張り ・ (23.4.3(a)) 法面 ※べた張り ・ 客土 ※行わない ○行う(※畑土 ・ 黒土) ・ 吹付けは種 種子の量 ※25 g/m ² ・ (23.4.2(c)) 種子の種類 ※洋芝類 被覆養生 ・ 行う ・ 行わない ・ 地被類 樹種 ・ 芽立数 ・ コンテナ径 ・ (23.4.2(d)) コンテナ数 ・ /m ² 芝張り、吹付けは種及び地被類の枯損償の期間 (23.4.7) ※引渡しの日から1年間 ・		

設計者		法適合確認欄		検証者		本庁舎北側北側増築部解体及び北側車路整備工事	設計番号 154834	図面番号 L — 01	
一級建築士 第277412号 前田 隆	一級建築士 第286776号 渡辺 和幸	一級建築士 第333763号 栗村 幹樹					外構工事特記仕様書 (1)	縮尺 1/41: A3:	日付 2015-02-

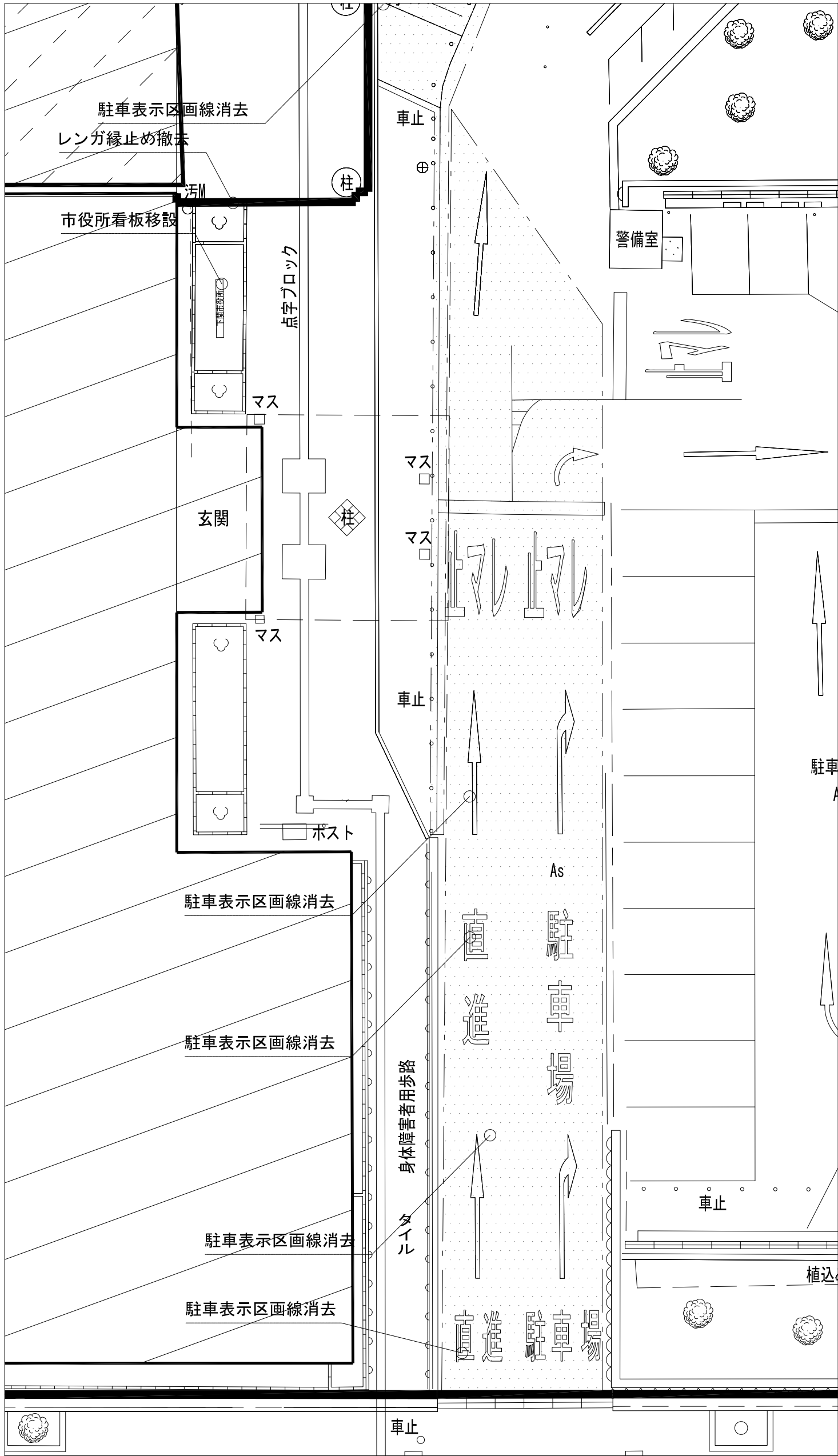


種 別	單位	全撤去數量	下部撤去數量	備 考
C=0. 15以上～0. 25未滿	本			
C=0. 25以上～0. 40未滿	本	8. 0		
C=0. 40以上～0. 60未滿	本	4. 0		
C=0. 60以上～0. 75未滿	本			
C=0. 75以上～0. 90未滿	本			
C=0. 90以上～1. 20未滿	本			
C=1. 20以上～1. 50未滿	本			
C=1. 50以上～1. 80未滿	本			
合 計	本	12. 0		

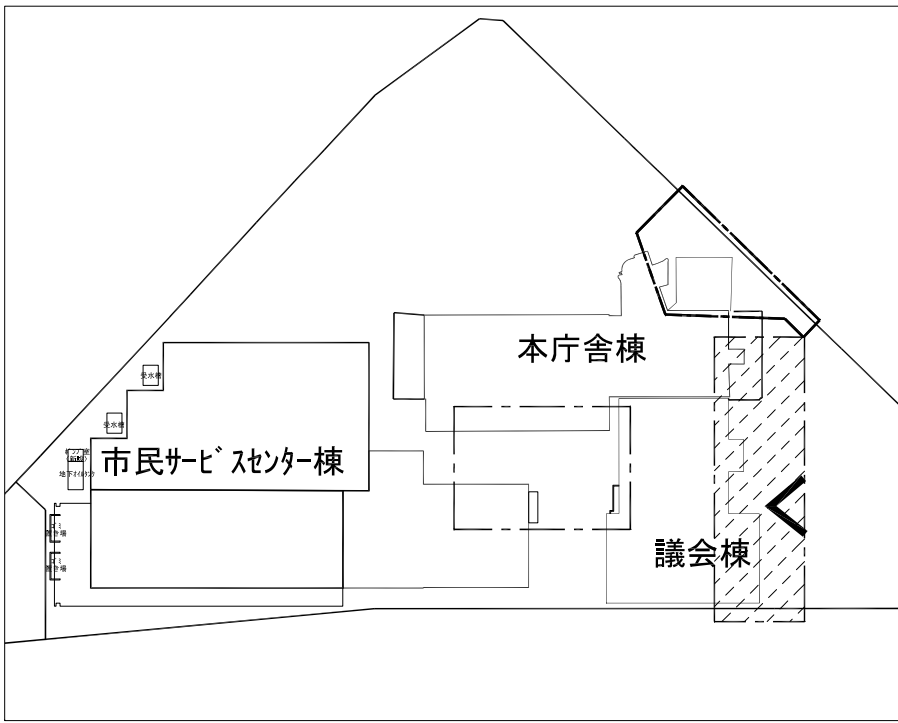
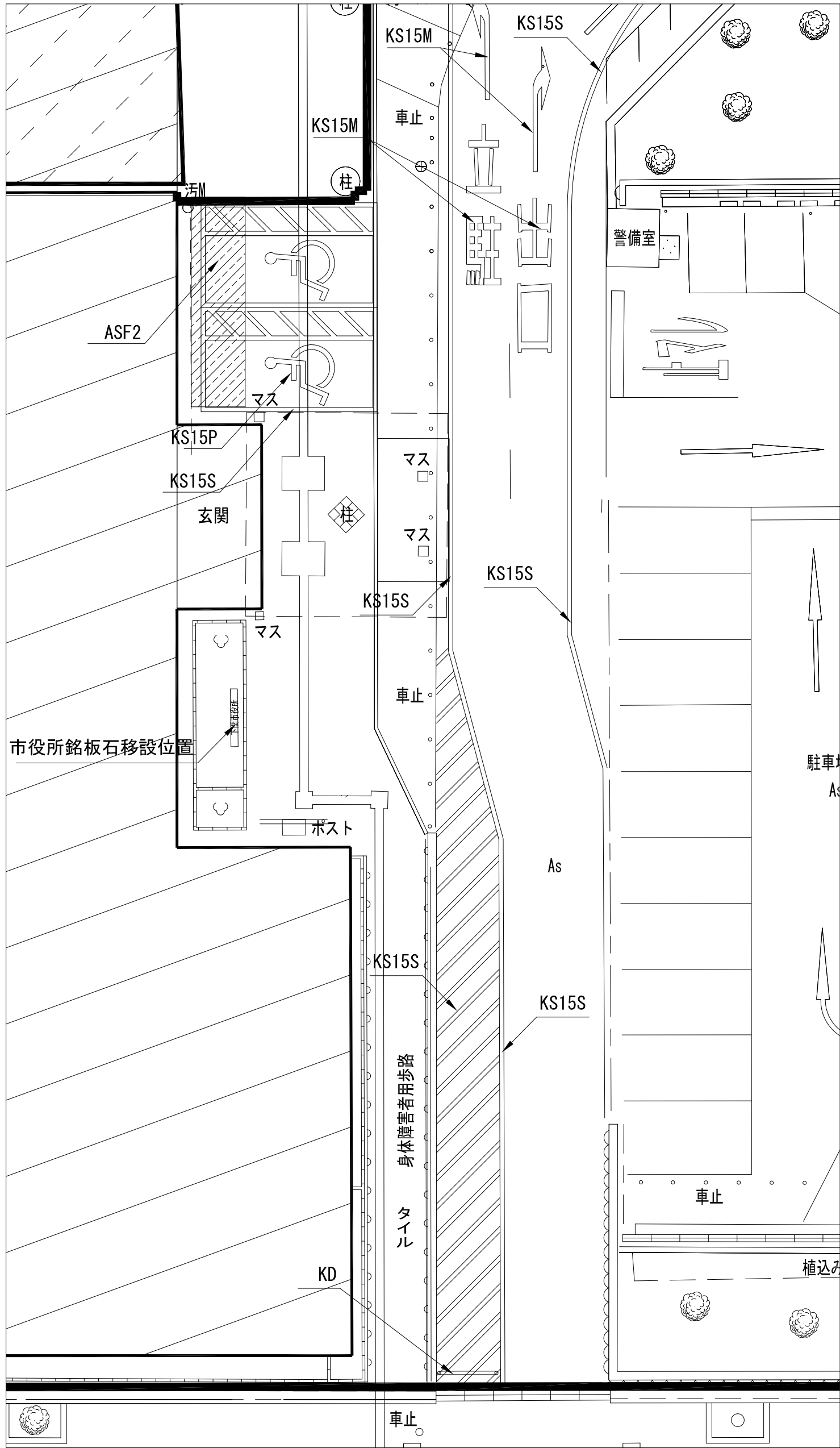
種 別	單位	全撤去數量	下部撤去數量	備考
H=0.60未満	本	1.0		
H=0.60以上～1.00未満	本	53.0		
H=1.00以上～2.00未満	本	1.0		
H=2.00以上～3.00未満	本	2.0		
H=3.00以上～4.00未満	本			
合 計	本	57.0		



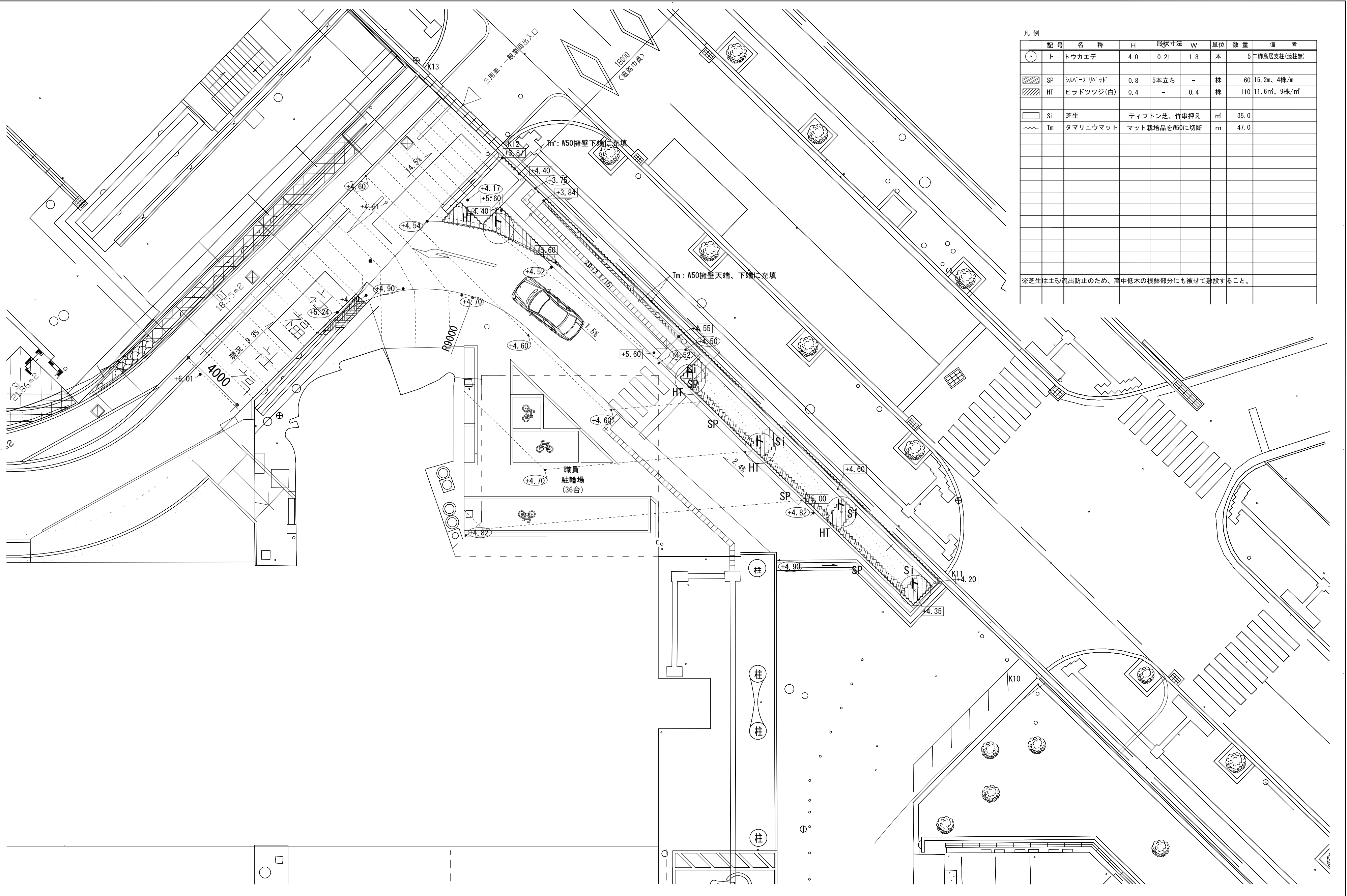
現況撤去図



仕上げ平面図



KEY PLAN



凡 例							
	記 号	名 称	H	形状寸法 W	単位	数 量	備 考
	ト	トウカエデ	4.0	0.21	1.8	本	5 二脚鳥居支柱（添柱無）
	SP	シムバ'ーフ'リベ'ット	0.8	5本立ち	-	株	15.2m、4株/m
	HT	ヒラドツツジ(白)	0.4	-	0.4	株	110 11.6㎡、9株/㎡
	Si	芝生	ティフトン芝、竹串押え		㎡	35.0	
	Tm	タマリユウマツ	マット栽培品をW50に切断		m	47.0	
						</	

CT-1 コンクリート立上り 断面図 S=1/20	SGIT 自然石積み 自然石 花崗岩：中国産さび御影 (300×250～600×控え300内外) コンクリート 18-8-25 再生砕石 RC-40	KSF アスファルト仮舗装 水勾配 2%以下 舗装工 (粗粒度アスコン)	ASF アスファルト舗装 水勾配 2%以下 舗装工 (アスコン) プライムコート 再生クラッシャーラン (RC-40) 路盤 粒度調整砕石 (M-30) 路盤																														
		ASF2 アスファルト舗装、杉板舗装止め 水勾配 2%以下 舗装工 (粗粒度アスコン) プライムコート 杉板1等 79mm×100 再生クラッシャーラン (RC-40) 路盤 施工箇所：建物北、西側	HBH-2 平板舗装 歩道用 水勾配 2%以下 透水性石調平板 歩道用300×300×60 砂 透水シート 再生クラッシャーラン (RC-40) 路盤 粒度調整砕石 (M-30) 路盤 施工箇所：アプローチ歩道																														
CT-2 コンクリート立上り H部断面図 S=1/5.0	CE-1 コンクリート縁石 歩車道境界ブロック 敷モルタル (空練1:3) 基礎コンクリート 再生クラッシャーラン (RC-40) 基礎	CE-2 コンクリート縁石 歩車道境界ブロック (切下げ) 敷モルタル (空練1:3) 基礎コンクリート 再生クラッシャーラン (RC-40) 基礎	KD 車止め 横杭 SUS304 φ34.0×t1.5 ヘアライン仕上げ 支柱 SUS304 φ60.5×t3.0 ヘアライン仕上げ アンカーボルト SS400 M8×150L ユニクロメッキ																														
	TS 手すり コンクリート 均しモルタル1:3 再生クラッシャーラン RC-40基礎	GKN 可倒式車止め ウレタンエラストマー 反射シート アルミニウムアンカー	L-240 L型エプロン部 基礎コンクリート 再生クラッシャーラン (RC-40) 基礎																														
AZUSA SEKKEI Architects, Engineers & Consultants 株式会社 梓設計 九州支社 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-10078号	設計者 <table><tr><td>一級建築士 第286776号 渡辺 和幸</td><td>一級建築士 第333763号 葉村 幹樹</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 法適合確認欄 <table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 検証者 <table><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 本庁舎北側増築部解体及び北側車路整備工事 設計番号 154834 図面番号 L - 07 詳細図 (1) 縮尺 1/42: 15 日付 2015-02-30	一級建築士 第286776号 渡辺 和幸	一級建築士 第333763号 葉村 幹樹																														
一級建築士 第286776号 渡辺 和幸	一級建築士 第333763号 葉村 幹樹																																

